

2023 年 3 月 期
決 算 説 明 資 料

金沢信用金庫

【 目 次 】

2023年3月期決算の概況

1.総括	1
(1)損益の概要	
(2)自己資本比率(国内基準)	
(3)金融再生法開示債権	
2.損益状況	2
3.預金・貸出金等	3
(1)預金・貸出金（未残）	
(2)預り資産（未残）	
4.有価証券の評価損益	3
5.自己資本比率(国内基準)	4
6.開示不良債権	4
(1)金融再生法開示債権	
(2)金融再生法開示債権の保全状況	
7.2024年3月期業績予想	5

2023年3月期 決算の概況

2023年6月2日

信用金庫名 金沢信用金庫（理事長 忠田 秀敏）
 本店所在地 金沢市南町1番1号
 問合わせ先 責任者役職名 総合企画部長
 氏名 津田 一志 TEL(076)231-0147

通常総代会開催日 2023年6月19日

1. 2023年3月期の業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 経営成績

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2023年3月期	5,433 (△9.4)	389 (△9.0)	380 (3.8)
2022年3月期	6,001 (△7.5)	428 (△38.9)	365 (3.1)

	貸出金残高	預金残高
	百万円 (%)	百万円 (%)
2023年3月期	183,912 (△6.8)	491,013 (△0.3)
2022年3月期	197,505 (△6.1)	492,670 (△2.3)

(注) 経常収益、経常利益、当期純利益、貸出金残高、預金残高におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 財政状態

	総資産	純資産
	百万円 (%)	百万円 (%)
2023年3月期	517,102 (△4.8)	20,329 (△17.6)
2022年3月期	543,561 (△1.8)	24,676 (△4.1)

(注) 総資産、純資産におけるパーセント表示は、対前期増減率

(3) 諸比率

	自己資本比率	不良債権比率
	%	%
2023年3月期	11.07	15.01
2022年3月期	10.83	14.48

(注) 1. 自己資本比率（国内基準）は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に基づき算出しております。

2. 不良債権比率（金融再生法）は、総与信に占める開示不良債権の割合であります。

2. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2024年3月期	5,231 (△3.7)	557 (43.1)	542 (42.6)

(注) 経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

2023年3月期決算の概況

1.総括

○ 損益は次の通りとなり、減収、増益となりました。

経常収益	5,433 百万円	(前期比 △568百万円)
経常費用	5,043 百万円	(前期比 △529百万円)
業務純益	473 百万円	(前期比 262百万円)
コア業務純益	716 百万円	(前期比 △42百万円)
投信解約益除くコア業務純益	716 百万円	(前期比 140百万円)
経常利益	389 百万円	(前期比 △38百万円)
当期純利益	380 百万円	(前期比 14百万円)

○ 自己資本比率(国内基準)は、前期末比0.24ポイント上昇して11.07%となりました。

○ 金融再生法開示債権は、前期末比1,021百万円低下して27,819百万円となりました。

(1) 損益の概要

(単位:百万円)

	2023年3月期			2022年3月期
		2022年3月期比	増減率	
経常収益	5,433	△ 568	△9.4%	6,001
経常費用	5,043	△ 529	△9.5%	5,572
業務純益	473	262	124.9%	210
コア業務純益	716	△ 42	△5.6%	759
投信解約益除くコア業務純益	716	140	24.4%	575
経常利益	389	△ 38	△9.0%	428
当期純利益	380	14	3.8%	365

(2) 自己資本比率(国内基準)

(単位:%)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
自己資本比率	11.07	0.24PT	10.83

(3) 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
金融再生法開示債権 (不良債権比率)	27,819 (15.01%)	△ 1,021 (0.53PT)	28,840 (14.48%)

2.損益状況

- 業務粗利益は、国債等債券損益が改善したものの、貸出金利息等の資金利益の減少により、前期比24百万円減少して4,399百万円となりました。
- 経費は、人件費、物件費ともに減少したこと等により、前期比173百万円減少して4,040百万円となりました。
- 業務純益は、業務粗利益が減少したものの、経費の減少等により、前期比262百万円増加して473百万円となりました。
- 本業の収益を示すコア業務純益(投信解約益除く)は、資金利益が減少したものの、経費の削減等により、前期比140百万円増加して716百万円となりました。
- 経常利益は、上記の要因に起因して、前期比38百万円減少して389百万円となりました。
- 当期純利益は、上記の要因に加え、特別損失の減少により、前期比14百万円増加して380百万円となりました。

(単位:百万円)

	2023年3月期		2022年3月期
		2022年3月期比	
業務粗利益	4,399	△ 24	4,423
(除く国債等債券損益)	4,756	△ 215	4,972
資金利益	4,370	△ 220	4,590
役務取引等利益	404	△ 12	417
その他業務利益	△ 375	208	△ 583
うち国債等債券損益	△ 357	191	△ 548
経費 (除く臨時処理分)	4,040	△ 173	4,213
うち人件費	2,098	△ 75	2,174
うち物件費	1,822	△ 89	1,911
一般貸倒引当金繰入額 ①	△ 114	△ 114	-
業務純益	473	262	210
コア業務純益 (注1)	716	△ 42	759
投信解約益除くコア業務純益	716	140	575
臨時損益	△ 83	△ 301	218
うち株式関係損益	△ 23	72	△ 95
うち不良債権処理額 ②(注2)	189	113	76
うち貸倒引当金戻入益 ③(注2)	-	△ 137	137
うち償却債権取立益 ④	122	△ 135	258
経常利益	389	△ 38	428
特別損益	△ 2	59	△ 61
税引前当期純利益	387	20	367
法人税、住民税及び事業税	7	△ 3	10
法人税等調整額	△ 0	9	△ 9
当期純利益	380	14	365

(実質不良債権処理額) ①+②-③-④	△ 47	271	△ 318
---------------------	------	-----	-------

(注) 1.コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

2.2022年3月期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が

取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

3.預金・貸出金等

- 貸出金は、事業性融資、住宅ローン等の個人向け融資が減少したこと等により、前期末比13,593百万円減少して183,912百万円となりました。
- 預金は、個人預金が主に減少し、前期末比1,657百万円減少して491,013百万円となりました。
- 預り資産では、国債は前期末比327百万円減少して4,150百万円となりました。また、投資信託は前期末比602百万円減少して5,201百万円となり、保険は前期末比1,298百万円減少して21,897百万円となりました。

(1)預金・貸出金（末残）

(単位:百万円)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
貸出金	183,912	△ 13,593	197,505
うち個人ローン	52,941	△ 3,609	56,550
うち住宅ローン	46,265	△ 2,903	49,168
預金	491,013	△ 1,657	492,670
うち個人預金	389,582	△ 1,589	391,172
うち法人預金	101,431	△ 67	101,498

(2)預り資産（末残）

(単位:百万円)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
国債	4,150	△ 327	4,478
投資信託	5,201	△ 602	5,803
保険	21,897	△ 1,298	23,196

4.有価証券の評価損益

- ヘッジ考慮後のその他有価証券の評価損益は、前期末比4,352百万円減少して3,509百万円の評価損となりました。

評価損益(その他有価証券)

(単位:百万円)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
合計	△ 5,589	△ 5,231	△ 358
株式	27	6	20
国債	△ 949	△ 505	△ 443
地方債	△ 2,151	△ 1,820	△ 331
社債	△ 677	△ 564	△ 113
その他	△ 1,838	△ 2,348	509

ヘッジ考慮後の評価損益	△ 3,509	△ 4,352	843
-------------	---------	---------	-----

評価損益(満期保有目的の債券)

(単位:百万円)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
合計	△ 1,237	△ 921	△ 315
国債	△ 1,183	△ 870	△ 312
地方債	△ 22	△ 22	-
社債	△ 31	△ 28	△ 3

5.自己資本比率(国内基準)

- 自己資本の額は、前期末比140百万円減少して20,263百万円となりました。
 リスクアセットは、前期末比5,397百万円減少して182,992百万円となりました。
 この結果、自己資本比率は前期末比0.24ポイント上昇して11.07%となりました。

2023年3月末の開示内容(国内基準)

(単位:百万円)

		2023年3月末		2022年3月末
			2022年3月末比	
自己資本の額	a	20,263	△ 140	20,403
リスクアセット	b	182,992	△ 5,397	188,390
自己資本比率	a/b	11.07%	(0.24PT)	10.83%

6.開示不良債権

- 金融再生法開示債権は、前期末比1,021百万円減少して27,819百万円となりました。
 また、総与信に占める割合は、前期末比0.53ポイント上昇して15.01%となりました。
 ○ 保全率は、前期末比0.74ポイント上昇して83.49%となりました。

(1)金融再生法開示債権

(単位:百万円)

		2023年3月末		2022年3月末
			2022年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		3,221	△ 405	3,626
危険債権		24,517	△ 659	25,176
要管理債権		80	43	36
金融再生法開示債権	a	27,819	△ 1,021	28,840
総与信残高	b	185,316	△ 13,739	199,056
総与信残高比合計	a/b	15.01%	(0.53PT)	14.48%

(2)金融再生法開示債権の保全状況

(単位:百万円)

		2023年3月末		2022年3月末
			2022年3月末比	
金融再生法開示債権	a	27,819	△ 1,021	28,840
保全額	b	23,228	△ 637	23,866
貸倒引当金		7,959	△ 495	8,455
担保・保証		15,268	△ 142	15,411
保全率	b/a	83.49%	(0.74PT)	82.75%

(注) 貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

7.2024年3月期業績予想

○ 損益は次の通り、減収、増益を見込んでおります。

経常収益	5,231 百万円	(前期比	△202百万円)
経常費用	4,674 百万円	(前期比	△369百万円)
業務純益	548 百万円	(前期比	75百万円)
コア業務純益	522 百万円	(前期比	△194百万円)
投信解約益除くコア業務純益	489 百万円	(前期比	△227百万円)
経常利益	557 百万円	(前期比	168百万円)
当期純利益	542 百万円	(前期比	162百万円)

通期(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	2024年3月期		2023年3月期
		2023年3月期比	
経常収益	5,231	△ 202	5,433
経常費用	4,674	△ 369	5,043
業務純益	548	75	473
コア業務純益	522	△ 194	716
投信解約益除くコア業務純益	489	△ 227	716
経常利益	557	168	389
当期純利益	542	162	380